

令和5年度行政評価（令和4年度実績）に係る新見市総合計画等外部評価委員会の意見反映状況

令和5年度行政評価（令和4年度実績）において、外部評価委員会から示された意見等に対する反映状況は以下のとおりです。

1 第3次新見市総合計画

1 産業・経済

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(1) 農業	資料P16「新規就農者確保育成事業」について、新規就農者のうち新見高校生物生産科卒業生の貢献度が高いようであれば、学科存続の取組強化が必要ではないか。	実施予定	【農業畜産振興課】 令和5年度に就農した新規就農者8名中5名（62.5%）が新見高校卒業生となっております。学科存続の取組については、必要に応じて関係部署への情報提供など連携を図って参ります。
	現在、農業用水路の修繕については補助金等が設けられているが、降雨時の排水機能を高めるような水路の新設などは対象とされていない。防災力の強化のため、防災対策（浸水対策）としての水路の改修や新設などの強靱化を市が主導で行うべきではないか。	その他	【農業畜産振興課】 農業用水路は、農業を営むことを目的としており、水門樋門の開閉は水路組合または耕作者が行うこととなっています。大雨時においても水位を確認し、水門樋門の開閉操作を適正に行っていただき、農業用水利施設に不具合等がある場合は、機能改善を支援し防災減災に努めてまいります。

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
<p>(1) 農業</p>	<p>資料P17「有害鳥獣対策事業」について、カワウの被害防止策を実施しカワウを減少させるべきではないか。また、新見地域でも熊の目撃情報が増加しているように感じるが、人的被害の発生する前に対策すべきではないか。さらに、耕作放棄地の増加や里山の荒廃が害獣被害の一因と考えられるので、捕獲と合わせ対策が必要ではないか。</p>	<p>実施予定</p>	<p>【農業畜産振興課】</p> <p>カワウの被害防止対策については、令和6年度に高梁川流域経済成長戦略会議農林水産部会と連携してコロナ対策としての防除テープの設置を実施する予定としております。</p> <p>ツキノワグマについては、有害駆除等の対策の所管が岡山県となっており、県ではツキノワグマの出没件数が高止まりの傾向にあり、生息域の拡大も顕著となっていたことから、令和4年度から管理計画に方針を転換し、被害防止対策に取り組まれております。また、環境省において本年4月にツキノワグマ等を指定管理鳥獣に指定し、指定管理鳥獣捕獲等事業交付金の拡充（クマ類メニューの追加）について、詳細な事業内容を関係省庁と調整中との情報がございます。今後は国や県の動向を注視し、その方針に沿って必要な対策を迅速に実施することとしておりますが、まずは市報やホームページ等でツキノワグマに関する情報提供や注意喚起を行い、人的被害の発生を防止したいと考えております。</p> <p>耕作放棄地の増加や里山の荒廃については、市内で122の組織が実施している中山間地域等直接支払交付金事業により、多くの地域でこれらの発生防止に取り組まれており、引き続き支援を行ってまいります。</p>

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(2) 畜産業 ・水産業	資料P21「千屋牛生産振興奨励金給付事業」について、千屋牛増頭のため補助金の増額が必要ではないか。	実施済	【農業畜産振興課】 千屋牛増頭に向けて、令和4年度から自家保留牛を交付対象とする要件緩和を行いました。今後も増頭意欲の向上に繋がる施策となるよう、事業の見直し等検討してまいります。
	千屋牛の増頭計画について、より緻密な計画を立てて実施すべきではないか。	実施済	【農業畜産振興課】 市では各ハード事業取組主体から提出された増頭計画を審査し補助事業を採択しており、増頭計画に沿った施設増設など確実な増頭が図られております。しかしながら、高齢化・担い手不足等により農家の廃業に歯止めがかからない状況であります。
	資料P23「農林畜産漁業創業支援奨励金」について、新規雇用については、市内での業種転換等による雇用ではなく、転入等市内の労働力が増加する結果となるよう取り組まれないか。	その他	【農業畜産振興課】 農林畜産漁業創業支援奨励金は、6次化に取り組む企業の参入を促進することを目的としております。活用しやすい事業とするため、転入者等の雇用を要件とすることには慎重な検討が必要であると考えております。企業参入により、魅力ある雇用が創出されることが転入等市内の労働力の増加につながるものと考えております。

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(2) 畜産業 ・水産業	増頭や従事者の所得向上、働き方改革を進め、持続可能な畜産業を推進するためには、事業者の規模拡大が必要であると考え、法人経営や大規模化を目指すといった指導等が市からも必要ではないか。	実施済	【農業畜産振興課】 生産者の現状は、コロナ以降生産資材費の高止まりや枝肉価格低迷など増頭に慎重な姿勢ではありますが、畜産業の法人化や規模拡大を目指す事業者の指導や相談については、引き続き県、商工会議所などと連携を図り、各専門家の意見を参考に対応してまいります。
	畜産業と農業を組み合わせ相互に成り立っていきけるような会社を設立した場合に補助するなど、新たな目線から市独自の支援制度を創設してはどうか。	実施済	【農業畜産振興課】 農林畜産漁業創業支援奨励金や創業・事業継承支援補助金など既存の施策を十分に活用いただけるよう助言してまいります。
(3) 林業	資料P25「地域林業担い手育成事業」について、担い手確保を目的とするのであれば、「林業就業に関する相談件数」ではなく新規就業者数などを評価指標に挙げた方がよいのではないか。	実施済	【林業振興課】 令和6年度から評価指標を「林業就業に関する相談件数」から「新規就業者数」へ変更いたします。
	資料P26「新特産品（木材）開発事業」について、令和3年度に新見高校での木工品生産について提案したが、木工品を製作する機械がないため実施困難という回答だった。今後推進するために、相応する機械設備を市が提供することはできないのか。また、地域おこし協力隊などで作り手の確保ができないか。	実施済	【林業振興課】 新見高校での木工品生産については、木工に特化した学科ではないため、カリキュラム的に実施困難との回答を得ております。 令和4年度に東京おもちゃ美術館の指導を受け1名（元協力隊）が令和5年度より誕生祝い品（ピオーネつみき）の製造を開始しております。

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(3) 林業	資料P27総合評価について、長期的に住みやすい街を実現するため、花粉症対策として無花粉スギ・ヒノキなどの植林を奨励する取組が必要ではないか。	実施済	【林業振興課】 花粉症対策として県内、市内で造林の際利用されている苗は少花粉スギ・ヒノキ（従来と比べ1%未満）であり転換を図っているところです。
(4) 鉱業・工業	資料P29「企業誘致推進事業」について、原材料調達、外注、下請け、運搬等の市内企業への発注や、地域経済団体等の活動に理解がある企業を選考すべきではないか。	実施予定	【商工観光課】 今後の企業誘致については、多様な業態を確保する目的に加え、市内で資材調達が行われるなど、市内経済の好循環につなげる視点を持ち実施していくことが重要であると考えております。
	資料P29「企業誘致推進事業」について、誘致企業の雇用確保に市内の既存の労働力が使われるという恐れもあるため、地域外からの雇用促進が図られるよう企業誘致を進めていくべきではないか。	実施予定	【商工観光課】 企業を誘致するにあたり、従業員が市外から市内に移住していただくといった観点も重要であることは認識しており、今後も関係団体と相談しながら取り組んでまいりたいと考えております。
	資料P29「資格取得費支援事業」について、IT分野やドローン操作の技能習得といった、資格に至らない技能習得に関する費用について、今後対象資格等を拡大すべきではないか。	実施済	【商工観光課】 令和5年度に交付要綱の一部改正を行い、要綱別表に掲げた資格以外でも、公的資格であることなど一定の要件を満たすものの申請を可能としました。これにより、より幅広く市内事業者のニーズに対応することができると考えております。

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(4) 鉱業・工業	資料P30「中小企業経営相談事業」について、人手不足や働き方改革に対応するための専門家としての社会保険労務士や、DX・IT導入支援に関する専門家であるITコーディネーターなどによる支援も検討されたい。	実施予定	【商工観光課】 より幅広い市内事業者からの相談に対応するため、中小企業診断士以外にも各分野の専門家による支援が可能となるよう、方法を検討しております。
	資料P30「産業振興会議」について、産業分野への投資による市内経済の波及効果を分析するため令和3年度に産業連関表を作成したが、その活用には専門的な知識が必要であることから、大学等の外部人材の活用を検討してはどうか。	実施済	【商工観光課】 「新見市産業連関表」が十分に活用されていない現状から、まずは連関表から読み取れる本市の現状を知るために、岡山大学から専門家を招き講演会を開催しました。今後は実際に活用していくための研修会を実施する予定であります。
	資料P30「中小企業経営相談事業」について、相談件数を事業の目標（評価指標）としているが、相談件数が多いのが良い・少ないのが良いという事にはならないので、目標値として不適切ではないか。	実施済	【商工観光課】 令和5年度実績の評価では、相談後の課題解決率を評価指標として用いることとしました。これにより、本事業が市内事業者の課題解決に寄与できているかを測定できると考えております。

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(5) 商業・サービス業	資料P35「I C O C Aを活用した地域活性化プロジェクト」について、『地元の商店等における消費の促進を図る』ことも事業目的であり、評価指標は「市民への新見市オリジナルI C O C A発行実績」でよいのか。ランニングコストも含め費用対効果や市内消費増加額、予算執行額の分析が必要ではないか。	実施予定	【商工観光課】 令和5年度実績の評価では、新見市オリジナルI C O C A利用額を評価指標として用いることとしました。また、経済効果の分析につきましては、今後も事業を継続していくうえで必要であると考えており、方法を検討しております。
	資料P35総合評価について、中小企業者はエネルギー価格や原材料費の高騰などで経営が厳しくなっている。売上だけでなく利益に着目した支援も検討されたい。	実施済	【商工観光課】 令和5年度は、原油価格や物価高騰によるエネルギー経費の負担軽減と脱炭素社会の実現に向け、市内において既存の設備を省エネルギー性能の高い設備に更新した市内中小企業者への補助事業を実施しました。今後も経済情勢を注視し、関係団体と情報交換しながら支援を検討してまいりたいと考えております。
(6) 観光	資料P36施策内容に「観光資源を磨き」とあるが、実施計画のどの部分に対応しており、どのように磨いてどのような効果があったかを評価すべきではないか。	その他	【商工観光課】 令和5年度実施計画事業では「食を通じた新見の魅力向上プロジェクト事業」が該当しており、本市の食を新たな観光コンテンツに磨き上げ、好評を博しました。 引き続き、そういった視点からも評価できるよう取り組んでまいります。

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(6) 観光	資料P39総合評価について、今後の課題として、地場産業との連携による産業観光ツアーの造成、A級食材のさらなるブラッシュアップ、インバウンドの調査研究、ワーケーションを視野に入れた調査研究が必要ではないか。	実施予定	<p>【商工観光課】 地場産業・産業界との連携は非常に有効であると考えており、産業観光ツアーの実現に向け取り組んでいるところです。 A級食材である千屋牛を活かしたステーキハウスやインバウンドについても商工会議所等と意見交換を行っております。 ワーケーションについては、移住担当部署とも連携し、サテライトオフィスの誘致等も含め取組を進めてまいります。</p>
(7) 雇用・労働	資料P41「IJUターン就職支援事業」について、広報分野では、出張相談窓口の開設などの取組を行っているが、例えば、オンライン縁結びサポート事業と連携し、成婚による市外からの移住・定住を増加させるなど、さらなる広報活動による本事業の魅力をアピールできないか。	実施済	<p>【商工観光課】 オンライン縁結びサポート支援事業の中で、IJUターン就職支援事業の広報を実施したほか、総合政策課や移住・定住推進課などと横断的に情報共有を行い、積極的な広報活動を実施しました。今後も市外からの移住・定住の増加に寄与するため、広報活動を継続してまいります。</p>
	資料P42「就職支援事業（東京圏分）」について、IJUターン就職について現在テレワークに向けた支援の構築に向けた調査研究を実施されているが早急な対策をされたい。そのために、空き家の利活用等も含めた総合的な施策も必要ではないか。	その他	<p>【移住・定住推進課】 ご指摘のとおり、テレワーカーを誘致するためには住環境やワークスペースの確保など、総合的な施策が必要であるため、移住希望者のニーズや傾向などを分析し、効果的な方向性を定めたいと考えております。</p>

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(7) 雇用・労働	<p>資料P43「企業ガイド作成事業」について、今後はウェブ版の認知度を上げること、閲覧機会を増やすことが重要ではないか。動画を取り入れ閲覧しやすくするなど、工夫して取り組まれないか。</p>	<p>実施予定</p>	<p>【商工観光課】 令和5年度に『新見市WEB企業ガイド「ニイミノシゴト」運営協議会』を立ち上げ、有識者の意見を参考に、効果的・効率的に運用していくこととしております。具体的な内容について、検討・実施してまいります。</p>
	<p>市内事業者の事業活動を継続するため働き手の確保は必須であるが、どのような業種や職種、スキル、年齢層が、どの程度不足しているのか実態調査が必要ではないか。求人・求職者数だけでなく、より細かいデータに基づき将来予想と対策を講じるべきではないか。</p>	<p>実施済</p>	<p>【商工観光課】 市内商工団体が市内事業所を対象として令和5年度に実施した「人材不足に関するアンケート」の結果を共有していただいております。業種別年齢層や人材の充足状況などを把握しております。若年層の人材不足が顕著であり、近年、就職を理由とした高校生の市外流出が続いていることから、令和6年度事業として、高校生の市内企業への関心を高め市内就職への意識向上を図ることを目的に「市内高等学校での市内企業による進路学習会」を実施しております。</p>

2 健康・福祉

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(1) 健康・保健	<p>資料P49「健康ウォーキング事業」について、限られた市町村にしかない認定コースがあるにも関わらず、クアオルト健康ウォーキングの良さや導入の経緯などが忘れられているのではないかと。市民の健康はもちろんのこと、健康組合等からも認定コースに来てもらい一緒に歩くということも想定してこれまで実施してきており、単なる歩くだけとは違うのだということをもっとPRすべきではないかと。</p>	<p>その他</p>	<p>【健康医療課】 おでかけ健康教室のメニューに健康ウォーキングのメニューを追加し、企業訪問の際や、衛生管理・安全管理講習会（岡山県労働基準協会新見支部主催）等でチラシの配布やPRを行っておりますが、参加者の増加につながっていない現状があります。今後は市内のみでなく、県の協会けんぽ等にも働きかけを行い、職域における健康寿命の延伸につながるものであることをPRしていこうと考えております。</p>
(2) 医療	<p>資料P53「看護学生奨学支援金給付事業」について、令和5年度から月額6.5万円となり、これまでの月額10万円から金額を下げている。給付を受ける側からすれば魅力が下がったように感じ、給付人数は増やしてあるが金額的な魅力が落ちたことで逆に利用する人が減るのではないかと。病院も介護施設も看護師不足であり、ぜひ給付金を利用して新見に残ってもらえるよう取り組まれないかと。</p>	<p>その他</p>	<p>【健康医療課】 看護学生奨学支援金の月額6.5万円は、県内同様の制度の中で最も高額であり、概ね大学等に係る授業料及び実習費等を賄える金額として設定しております。令和5年度は応募件数0件でしたが、大学等の修学支援担当者にヒアリングを実施したところ、ニーズとのミスマッチ（就業先を制限する奨学金制度は全般的に敬遠傾向）が主要な要因と推察されました。このことから、令和6年度からは看護師定着奨励金制度を新たに創設し、新卒者に加え市外からの転職、潜在看護師の発掘などによる看護師確保策にも取り組むこととしております。</p>

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(2) 医療	若い看護師の方は、病院が綺麗かどうかや、最新の設備があるかどうかを基準に勤務先を選んでいるようである。市内の病院でも近代化の進み具合には差があるため、そういった課題もあるのではないか。	実施困難	<p>【健康医療課】</p> <p>看護師が勤務先を選択するにあたり、施設の状況や勤務環境は判断基準の一つとして認識していますが、各医療機関の取組によることとなりますので、医師会や各医療機関と意見交換してまいりたいと考えております。</p>
(3) 児童・福祉	意見等無し		
(4) 高齢者福祉	意見等無し		
(5) 障がい者 (児)福祉	資料P66「障害者相談支援事業」について、相談件数を事業の目標（評価指標）としているが、相談件数が多いのが良い・少ないのが良いという事にはならないので、目標値として不適切ではないか。	実施予定	<p>【福祉課】</p> <p>障害者相談支援事業の事業目標（評価指標）に、相談件数は、適当ではないのではないかとのご指摘につきましては、別の目標値を検討いたします。</p>
	手話言語条例について、関連した取組を進められたい。	実施予定	<p>【福祉課】</p> <p>現状は、人材育成に重点を置いて施策を展開しております。今後は、福祉イベントなどで、手話通訳者等の活動の場を設け、手話への理解促進や普及を図ってまいります。</p>

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(6) 地域福祉	資料P70「生活困窮者自立相談支援事業」について、相談件数を事業の目標（評価指標）としているが、相談件数が多いのが良い・少ないのが良いという事にはならないので、目標値として不適切ではないか	実施困難	【福祉課】 事業の目標に相談件数は、適当ではないのではないかとのご指摘につきましては、問題のある生活困窮者世帯について、相談までたどり着くとの意味合いがございいますので、ご理解いただければと考えております。
	資料P71「民生委員・児童委員活動支援事業」について、民生委員も高齢化し、交代したいが次に代わって受けてくれる人がいないという状況が多数見受けられる。高齢者のみの世帯や独居老人が増え民生委員の仕事はさらに増えてくると思うが、業務の負担軽減ができないか。また、全国的に人員確保が難しいということであれば、市だけでなく厚生労働省にきちんと要望すべきではないか。	実施予定	【福祉課】 民生委員・児童委員のなり手不足問題につきましては、全国民生委員・児童委員協議会でも、厚生労働省へ問題提起されております。 民生委員・児童委員の業務負担軽減につきましては、方法などを検討してまいります。
	民生委員について、各所に訪問する業務であるのに燃料代等が高く、一方で報酬は少ない。一生懸命活動しているのに対し報酬が少ないため、報酬の増額を検討されたい。	実施済	【福祉課】 令和6年度で、民生委員の報酬（費用弁償）につきまして、若干ではありますが、増額を行っております。今後ともご理解・ご協力をよろしく申し上げます。

3 教育・文化・スポーツ

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
<p>(1) 就学前教育・義務教育</p>	<p>資料P78「学力向上推進事業」について、i-checkを学校現場がどの程度有効に活用しているか再度校長調査等を実施されたい。i-checkは直接学力に結び付くというよりは学習のベースを支えるものである。学力向上を目標として掲げているので、より学力に直結した検査があればそちらを実施してはどうか。</p>	<p>実施済</p>	<p>【学校教育課】 i-checkについては、全小中学校で実施しており、本調査の結果を通して、学級経営及び生徒指導へ活用し、生活習慣・学習習慣の改善を目指すことで、児童生徒の学習意欲の向上を図っております。結果については教育委員会も把握しており、学校と連携して学習環境の改善、学力向上に取り組んでおります。 またi-checkと「全国学力・学習状況調査」、「岡山県学力・学習状況調査」を併用することで、学力との相関を図り、学力向上を目的とした学級経営や授業改善に活用しております。</p>
	<p>他市の統合した学校では、学校が荒れたり授業がうまく進まなかったりといった事例があった。行政からの手厚い支援・人員配置や、統合前の子供達の交流が非常に大事である。統合前後は、保護者も含め、手厚くサポートやケアを実施されたい。</p>	<p>実施済</p>	<p>【学校教育課】 統合が決まった学校では、計画的に交流学習や合同行事を行っております。また、継続的な支援を行うことができるように教員の配置も配慮しております。</p>

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(2) 大学・ 高等学校	資料P83「市内の高校に進学した中学生の割合」が下がっているが、市内高校の生徒数が減っている現状では、早い段階から大勢の子供の中で学ばせるため、小・中学校から市外に進学させる親も増えるのではないかと。そうなれば家族全体での転出ということになり、さらに人口減少が加速する懸念がある。達成目標に市内の小・中学校に進学した割合を追加し、さらに大きな視点での人の流れを分析すべきではないか。	実施困難	<p>【総合政策課】</p> <p>親の仕事都合などで転出する場合もあり、現在実施しているアンケートでは詳しい個人情報は把握できないこと、また、障害児などは小中学校以外へ進学するケースもあることから分析することは難しいものと考えます。</p>
	資料P85「高校魅力化推進事業」について、市内の高校に進学した中学生の割合が低下傾向にあるため、高校選択の実情を分析し有効な対策を講じる必要があるのではないかと。通学費に対する助成も一定の効果を上げているようだが、通学費が高校選択の重要条件であれば、市内の中学生が市外の高校を選択することと矛盾するのではないかと。	実施予定	<p>【総合政策課】</p> <p>通学費に対する助成はアンケート結果によると進学率の向上にあまりつながらないことから見直しを予定しており、生徒が充実した学校生活を送るための新たな高校魅力化推進事業を実施しています。</p>
	新見公立大学への市内からの進学実績も指標にしてはどうか。市民が思っている以上に良い教育がされている大学であり、市の活性化にもなるため、市も積極的に進めてはどうか。	実施予定	<p>【総合政策課】</p> <p>市内高校卒業者の優先枠を設けられており、市内から進学しやすい状況が整えられていますが、枠の定員を満たしていない状況にあるため、PRが必要であると考えます。</p>

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(3) 生涯学習	他の施策に比べ達成度や施策達成レベル等が低く、目標設定の問題であれば今後見直しを検討されたい。	実施予定	<p>【生涯学習課】</p> <p>講座参加人数や教室の開講日数等の量的な指標ではなく、受講者アンケート結果による満足度や意識の変化等、質的な指標を検討します。</p>
	事業の成果・課題について、「引き続き」ということは、これからの時代に通用しないと思われる。例えば、現在はインターネットで多読できるサービスもあり、図書館に実際に来て本を借りるよう促すのであれば非常に魅力的な事業等を行わなければ難しい。新見市はICTが進んでいるという強みを生かすなど、新しい切り口を模索し改善することが必要ではないか。	実施困難	<p>【生涯学習課】</p> <p>電子図書の導入について、貸出可能な電子書籍や端末が不足していること、また、導入コストの負担が大きいなどデメリットもあるため、現時点では困難であると考えております。</p> <p>今後、県立図書館や他自治体の動向を踏まえて検討します。</p>
	資料P86「図書館の貸出冊数」について、実績値が10.4冊というのは少ない方ではなく適度ではないかと感じられるが、類似団体と比べてどうかということも参考にし、何が欠けているか分析されたい。	実施予定	<p>【生涯学習課】</p> <p>令和4年度の貸出冊数について、同規模自治体と比較しても少ない方ではないと思われます。</p> <p>しかし、新見市の貸出冊数は年々減少しており、特に中学生以下の貸出冊数の減少が大きいため、児童・生徒の読書活動を支援する取組を検討します。</p>

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(4) 芸術・文化・文化財	意見等なし		
(5) スポーツ・レクリエーション	資料P96「ソフトボールのまち新見市」推進事業について、幅広い世代の市民が生涯スポーツとしてソフトボールに親しむということは重要であり、小中高大学等でソフトボール部活動やスポーツ少年団活動などに取り組む必要があるのではないかと。また、全国大会や合宿の誘致に積極的に取り組まれないかと。	実施済	<p>【生涯学習課】 大会の開催にあたり、地元の社会人ソフトボールチームの方や中高生のソフトボール部員など、幅広い世代の市民にボランティアスタッフとして参加いただくことで、ソフトボールを通じた人づくり、まちづくりに励む他、開催期間中にリーグ選手によるスポーツ少年団への指導教室なども実施いただいております。ソフトボールの普及や競技力の向上に努めております。今後も各種関係機関と連携を図りながら、全国規模の大会等、積極的に誘致に取り組んでまいります。</p>
	資料P97「スポーツ施設管理運営事業」について、スポーツ施設の利用価値向上と施設管理費用の財源確保のため、例えば屋外運動場でのライブイベント開催など、利用拡大を検討する必要があるのではないかと。	実施予定	<p>【生涯学習課】 スポーツ用途以外に利用範囲を拡大することにつきましては、本来の体育施設が持つ役割を優先した上で、利用が可能な範囲で検討して参りたいと考えております。</p>

4 安全・生活基盤

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(1) 防災	対象となる意見等無し		
(2) 消防・救急	資料P106「消防・救急車両整備事業」について、クローラーの装着可能な全地形活動車や、水害用エアポート等の災害車両の導入も必要ではないか。	実施困難	<p>【消防本部】</p> <p>小型救助車などの特殊車両を運用するには運搬車も必要であり、現在の体制で維持管理し有効に活用することは困難であります。当該車両が必要な事案が発生した場合には、国から小型救助車などを無償貸与されている岡山市や倉敷市の応援を受けることを想定しております。</p>
(3) 防犯・交通安全	意見等無し		
(4) 水道・下水道	意見等無し		

5 都市基盤・交通

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
<p>(1) 道路</p>	<p>資料P121「達成目標の進捗（達成）状況」及び資料P122「道路新設改良事業」について、市民の利便性・安全性の向上のため、市が管理する県道や主要な市道について、計画的に道路整備（1.5車線化や待避所設置、歩道整備を含む）を進められたい。</p>	<p>実施予定</p>	<p>【建設課】 現在、市道小学校金谷線のかなや橋において、歩道整備を行っております。 また、市が管理する比較的交通量の少ない山間地域の県道および市道において、視距の確保や待避所設置といった局部改良を行っております。引き続き市民の利便性・安全性向上に資する道路整備を進めてまいります。</p>
	<p>資料P122「道路新設改良事業」について、戸数が徐々に減少した集落に対しても市道や橋梁の維持管理は続けなければならないと考えているのか。将来を見据え居住移転を支援し、効率的にインフラを提供していくことが重要だと考える。立地適正化計画等で市街地への誘導策は示されているが、市域全体でのコンパクトシティー化についても取り組むべきではないか。</p>	<p>その他</p>	<p>【建設課・都市整備課】 戸数が減少した集落に対しても道路の維持管理は必要ではありますが、将来的には路線の廃止や橋梁の集約・撤去なども含めた効率的な維持管理の検討も必要であるとと考えております。 また、国が進める「多極ネットワーク型コンパクトシティ形成」の概念に沿って「立地適正化計画」を定め、都市計画区域内の中でも市街地の中心拠点に都市機能を誘導し、支局管内の地域拠点を交通ネットワークで結ぶまちづくりに取り組むこととしております。</p>

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(1) 道路	資料P124「市道及び管理県道道路パトロール及び維持補修事業」について、市域が広いとため、異常箇所を早く発見してもらい、すぐに連絡して補修等ができる体制を取れば、より広範囲で迅速な対応ができるのではないかと。	実施予定	<p>【建設課】</p> <p>市管理道路の維持補修については、令和4年度から業者委託を行い、1班体制で市南部を中心に主要な市道および市管理県道について、最低でも週1回のパトロールを実施し、その他の路線についても直営で早期の異常発見および対応を行っているところです。</p> <p>また、令和6年度導入予定の市公式LINEにおいて、市民から道路損傷の通報を受付できるシステムの運用を計画しており、より迅速な対応につなげてまいります。</p>
(2) 住環境・情報通信	資料P126「新見駅周辺まちづくり検討事業」について、新見駅周辺まちづくり基本構想では事業化の目安が定められており、ソフト事業だけでなくハード事業についても具体的な目途やスピード感を持って並行して実行されたい。	その他	<p>【都市整備課】</p> <p>新見駅周辺まちづくり基本構想に示したハード整備には、多くの施策があり、内容によっては、多課にわたるため庁内にワーキンググループを設置し、全庁横断的に取り組むこととして情報共有を行っているところでもあります。</p> <p>また、多くの施策の中でも市の玄関口として、子どもから高齢者まで、誰もが移動しやすい環境を整えるためにも、JR新見駅のバリアフリー化が最重要と考え、JR西日本と協議を重ねるとともに事業化に向けた検討業務を発注しているところでもあります。</p>

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(2) 住環境・ 情報通信	IP電話について、固定電話からの変更は非常に手間がかかるため、利用料金が抑えられるメリットがあっても申し込んでいない人も多いが、その点について対応しているか。市である程度のマニュアルを作成するなど、市民の利便性向上のため検討されたい。	実施済	<p>【情報政策課】</p> <p>ソフトバンクのIP電話の名義変更や他電話事業者からの乗り換えにつきましてはマニュアルを作成し、市民からの問い合わせに対し、わかりやすい説明に努めております。</p>
(3) 公共交通	資料P131「市営バス運行事業」について、年配の方は大型バスの乗り降りが大変なため、踏み台の設置や低床バスの導入など乗降しやすいような工夫や対策が必要ではないか。	実施困難	<p>【交通対策課】</p> <p>バス事業者に確認したところ、本市のバス路線において低床バスを導入することは、地形的に起伏が大きいことから困難であるとのことでありました。また、路線バスにおいて停留所毎に踏み台を設置することは困難であると考えております。</p>
	資料P131「市街地循環バス運行補助金」に関連して、市街地で夜間に飲酒・飲食をした場合、帰宅時の交通手段がないため、飲食店の活性化という側面も含めて、市街地循環バスの夜間運行や運行時間の延長はできないか。	実施困難	<p>【交通対策課】</p> <p>市街地循環バス「ら・くるっと」は、備北バス(株)が運行する路線バスの1路線になります。夜間運行や運行時間の延長につきましては、乗務員確保のなどの要因から困難であると伺っております。</p>

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(3) 公共交通	資料P131「市街地循環バス運行補助金」について、ら・くるっとの現行ダイヤは約90分間隔となっているが、待ち時間が少し長いのではないかと。運行台数を増やし、30分程度の間隔で運行できれば、利便性が高まり利用が増加するのではないかと。	その他	<p>【交通対策課】</p> <p>市街地循環バス「ら・くるっと」は、備北バス(株)が運行する路線バスの1路線になります。運行台数の増台につきましては、乗務員や車両の確保などの要因から困難であると伺っておりますが、市全体の公共交通を再構築する中で引き続き協議してまいりたいと考えております。</p>
	資料P133「鉄道利用促進事業」について、10月14日の鉄道の日や新見駅開業95周年にあたり、特別列車の運行など新見駅やJRとの連携事業を実施してはどうか。	実施済	<p>【交通対策課】</p> <p>令和5年度に鉄道の日10月14日(日)から新見駅開業95周年事業として、新見駅との連携により写真展を開催しました。</p>
	乗り合いタクシーについて、市内バスとの中間地点として横見停留所が設定されているが、停留所の近くに公衆トイレを設置する必要があるのではないかと。	実施困難	<p>【交通対策課】</p> <p>現在、市街地を除く地域に乗合タクシーを導入する計画としており、結節点となる停留所などが増加することから、すべてに公衆トイレを設置することは、設置経費や管理などの要因から困難であると考えております。</p>

6 環境

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
<p>(1) 環境・自然・生態系</p>	<p>資料P137で環境負荷の少ない社会を実現し豊かな自然と生態系を守るとあり、高梁川水系におけるヤマメ・アユなどの内水面資源や、石灰洞窟等にある希少動植物について、地域資源の活用及び経済活動の発展にも繋げるため、生態系の保護に努められたい。</p>	<p>実施予定</p>	<p>【環境課】 地球温暖化が進んでおり、生態系への影響も懸念しているところです。本市の豊かな自然環境を後世に残す必要があるため、今後は、まず生態系調査などを実施したいと考えております。</p>
	<p>資料P139「木質バイオマス利用促進事業」について、事業体によって取り組み度合いに差があるのではないかと。林地残材が放置されると流出し土石流になりかねないため、多くの事業体にできるだけ搬出して山に残さずきれいにしてほしいといった指導を市からできないか。</p>	<p>実施済</p>	<p>【林業振興課】 林業関係者で組織する「未来へつなぐ新見の林業会議」において、林地残材の有効活用、災害を防止する施業方法などの研修、検討を行い林地残材の搬出促進、適切な森林施業等の促進を図っております。</p>
	<p>ナラ枯れについて、現在市内の多くの山で進行しており、対処されたい。</p>	<p>実施済</p>	<p>【林業振興課】 平成30年度に市内で初めて被害が見つかり、令和元年度から県補助金を受け対策事業を実施しております。現在では、市内全域に被害が拡大しつつあり、県と連携し、道路沿線や人家、観光施設付近などの被害箇所を優先的に対策を行っております。</p>

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(1) 環境・自然・生態系	資料P139「木質バイオマス利用促進事業」に関連して、今後の長期的な展望をもって、植林について市も補助等をするなど、支援されたい。	実施済	【林業振興課】 再造林率の向上を図るため、令和6年度から再造林促進事業奨励金を創設し、再造林の促進を図っております。
	山林所有者の高齢化や、搬出路が無いなどの理由で放置されている山林もあるため、適切に状況を把握し、資源を有効活用するため多方面からの援助をお願いしたい。	実施済	【林業振興課】 森林経営管理法に基づき山林所有者に対し、森林の経営管理状況や今後の経営管理について意向調査を平成30年度より順次実施し、森林の適切な経営や管理を進めるため必要な対策を実施していくこととしております。
(2) 廃棄物・公害	事務所等でのシュレッダーごみについて、燃えるごみとして焼却するのではなく、牧場等へ持っていき有効活用するよう市から指導するなどして、燃えるごみを減らす対策が必要ではないか。	実施困難	【環境課】 シュレッダーごみの有効活用には、ある程度の量が必要になってくるため、排出量の多い公的機関などに個別に協力を依頼してまいります。

7 交流・コミュニティ

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(1) 交流	<p>資料P149「ふるさと納税事業」について、令和4年度は非常に大きな伸び幅だったことは確認できたが、新見市から逆に他自治体にふるさと納税をし税収が減った額は把握しているか。寄付受入額は50%増加しているが、県内15市では一番少ないということなので、ぜひ頑張っていたきたい。</p>	実施予定	<p>【移住・定住推進課】 新見市民が他の自治体に行ったふるさと納税の額等については、市民税課税台帳の集計及び総務省が毎年行う現況調査（総務省HP公表）により把握しています。 令和5年度の寄附受入額は前年度比約30%増の1億3,253万円であり、県下15市中14位の寄附金額となりました。引き続き、市外イベントやWEB広告等により、新見の魅力を発信し、寄附金額の増加に努めてまいります。</p>
	<p>資料P154「空き家活用推進事業」について、今後のテレワークの推進のためにも、市が空き家を改修し事業者用のモデルルームを整備する等、積極的な発信が必要ではないか。</p>	その他	<p>【移住・定住推進課】 市が空き家を改修する予定はありませんが、事業者が空き家を事業所やシェアハウスなどに活用できるよう、補助制度の見直しを検討してまいります。</p>
(2) 移住・定住	<p>資料P154「空き家活用推進事業」について、移住者の住宅として賃貸という選択肢も必要であり、改修、家財整理、当面の家賃等、初期費用を補助する制度が必要ではないか。</p>	その他	<p>【移住・定住推進課】 ご指摘のとおり、賃貸の空き家物件は少ない状況です。移住希望者のニーズに対応できるよう、補助制度の見直しを検討してまいります。</p>
	<p>移住・定住の促進について、未就学児童を含む家族に対し1週間から3週間程度の保育園留学を導入してはどうか。</p>	実施済	<p>【移住・定住推進課】 令和6年度から「にいみde子育て体験事業」を開始し、2週間程度、保育体験をできるプログラムを構築しています。今年度は秋冬に1組ずつ募集し、成果や課題を分析してまいります。</p>

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
(3) コミュニティ・NPO・ボランティア	資料P159「地域運営組織活動拠点施設整備事業」について、各地域運営組織の活動拠点が整備されるということは非常に良いことだが、今後の維持管理費が増大する懸念もあり、財源は確保できるのか。	実施済	【総合政策課】 既存の公民館等を使用している地域もあり、新たな費用が発生するわけではありませんが、維持管理費については、節約に努めるとともに、財源について国に要望するなど財源の確保に努めます。
(4) 人権・パートナー	資料P165「結婚推進事業」について、婚活事業に関しては他団体も実施しているが、女性の応募が少ない等の課題も多い。開催時期、方法、内容の再検討が必要ではないか。	実施済	【総合政策課】 女性を含め多くの方に婚活イベントに参加してもらえよう、開催時期、方法、内容及び広報の方法を見直します。

2 地域再生計画
意見等無し

3 その他

施策項目	外部評価委員会意見	反映状況	反映状況の詳細
	資料P4「評価方法」について、実施計画事業の評価方法のうち効率性の評価基準に、市内事業者への発注や経済波及効果など「地域経済への貢献度」も加えるべきではないか。また、施設整備を伴う事業については、採算性、持続可能性、収支バランスによる評価が必要ではないか。	その他	【総合政策課】 評価方法については、前期行動計画期間中における評価の基準になっているため、新たな視点の追加等の大幅な変更は考えておりませんが、評価の方法として貴重なご意見であることから、令和7年度からの後期行動計画における評価方法で検討させていただきます。